

## 「中国ブロック農業大学校等意見発表会，中国四国農業大学校等プロジェクト発表会」

1月19日に2つの発表会が行われました。本来であれば，開催を担当する県へ行き，実際に審査員の前で発表するのですが，新型コロナウイルス感染症が全国的に増加していることから，初のリモート発表会となりました。

まず，午前に行われたのは，中国ブロックの農業大学校等の1年生の学生が大学校における実践学習，我が家の農業経営や生活，地域の農業環境，就農等について，自らの学生生活を通じ日頃考えていることや思いについて発表する意見発表会です。

本校からは，野菜専攻の学生が「魅力あるコンテンツ作りで地域の活性化を目指す」というテーマでこれから農大で学びたいことや卒業後の就農ビジョンについて意見発表しました。

また，午後からは，中国四国ブロック農業大学校等の2年生の学生が，自ら考え，自ら実践したプロジェクト学習において，その成果と今後の展望を発表しました。花き専攻の学生が「ニチニチソウの灌水方法が生育や品質に及ぼす影響」，肉用牛コースの学生が「TMR給与法が肥育牛の採食量，増体及び肉質に及ぼす影響」について発表しました。

3名とも惜しくも全国大会出場はなりませんでしたが，冬期休暇中にもかかわらず，発表要旨の作成や発表動画の撮影など積極的に取り組みました。



高知県の審査員からの質問に答える学生